

OP(弊社用意)



北村技術株式会社

**本日は前回の続きで
ICT(情報通信技術)班の
作業の様子をご紹介します！**

現場で3Dレーザースキャナーを 用いた観測後の内業風景

～作業の流れ～

本日の内容

①カラージョ

②ゴミ処理

③横断面作成

④設計データ作成

背景お任せ

弊社では、平成〇年〇月に3DレーザースキャナーとUAV（ドローン）を導入し、時間のかかっていた測量を**早くて・安く・上手い**を実現できるようになりました。

3次元計測は、レーザー光を立体物に照射し、その反射光量の測定から3次元幾何情報を取得します。

非接触、短時間で3次元形状測定できることが特徴です。

また、取得した3次元デジタルデータは、既設プラントの3D-CAD化、建造物の3Dデジタル管理、建設現場の進捗管理、リバーズエンジニアリングなど、様々な分野に適用できるのです！

3Dレーザースキャナーを使用した場合のメリット

1. 3Dレーザースキャナーを使用した場合、外業が**半日以上短縮**される
2. 三次元データを取得しているため、**設計計画等柔軟に対応**できる
3. 危険度の高い現場にて、高い**安全性**を持っている
4. 詳細を計測するのに、足場がいる現場：**コスト削減**

ではICT班の作業の様子を見てみましょう！

③横断図作成

⇒測ってきたところの横断を切って貼る作業

（ゴミ処理したデータをそのまま輪切りしたイメージ。）

- ・今回使用した現場は起工測量（工事前）でピンクの線が現在の地面
ピンクの線＝3次元計測地盤線（レーザーで測ったところ）

部分、部分を編集頂いて(途中早送り等お任せします)
作業の様子についての実況？や説明等をお調べしてコメント挿入いただけたら嬉しいです。

④設計データ作成

⇒例えば盛土をする予定の場合に仮想で作成するもの

部分、部分を編集頂いて(途中早送り等お任せします)
作業の様子についての実況？や説明等をお調べしてコメント挿入いただけたら嬉しいです。

**以降の作業に関しましては
次回にアップ致しますので楽しみに！**

**3Dレーザー計測、その他技術などご相談
に関しては北村技術株式会社にお任せく
ださい。
お問い合わせお待ちしております(^▽^)/**

チャンネル登録&いいねをお願い致します。

ED(弊社用意)



北村技術株式会社